

交通会議分科会での意見について

第2回ふれあいバス見直し検討分科会（令和2年1月15日）

第2回本埜第二小学校周辺地域対策分科会（令和2年1月15日開催）

第2回師戸地区対策分科会（令和2年1月17日開催）

■ふれあいバス見直し検討分科会

議題1：印西市地域公共交通網形成計画策定に係るアンケート調査の集計結果について

- ・（委員）7ページ、印西市総人口の推移について、市町村合併の時期を入れてほしい。
- ・（委員）ニュータウン地域と、それ以外の地域との、人口の変化をみることは出来ないか。
- ・（委員）59ページの混雑時旅行速度の図は、バスが走っているのに表示されていない区間がある。道路交通センサスの対象路線は国道、県道だけなので、市道は入れていない旨の注釈を入れてほしい。
- ・（委員）35ページの路線バスとコミュニティバス重複路線の図は、路線バスの補助ありと補助なしの重複路線は入れていないのか。
- ・（委員）41ページの図の、順大線が通る区間について、運行本数について確認してほしい。
- ・（委員）報告書を全体にかかることだが、数字をみるのに慣れていない人もいるので、総評などのまとめたものを入れてわかりやすくしてほしい。
- ・（委員）現状把握の資料では、企業送迎バスや、スクールバスなどについて触れられていないが、これらは市内で多く運行されていると思う。企業送迎バスやスクールバスなどについて、言及した方がよいと思う。千葉市のイオンでは送迎バスに一般客が乗車している。
- ・（委員）バスのルートや車両の導入を図る際には国の認可が必要だが、地域公共交通会議で了承されることによって、いろいろなメリットがある。可能性を感じている。
- ・（委員）議会に対しては、資料を加工しないようありのまま伝えてほしい。

議題2：意見交換

- ・（委員）アンケートの自由意見に北総線の運賃は高いという記述が多く挙がっていた。このように市民の意見が多く挙がっていることから、市としても要望したほうが良いと思う。せっかく鉄道があるのに、運賃が高くて使わないのは市としてもったいない。住民が市外に移住して、高齢化が進む要因にもなっている。
- ・（委員）ふれあいバスの新しい時刻表は、わかりやすく、良くなったと思う。
- ・（委員）ふれあいバス利用者は迂回せずに早く着くことを望んでいて、非利用者では玄関先まで乗り入れることを望んでいる。意見の違いが出ている。今のルートはいろいろな地域を回っていて分かりづらくなっている。そのため、利用されていないバス停などは見直し、利用者の意見を踏まえて、わかりやすくし、また、安全の面からも走りやすいルートにした方がよい。
- ・（委員）ふれあいバスと路線バスが重なる路線で、同時刻に出る、後ろのふれあいバスは満員で、路線バスは空いているという状態がある。本来、ふれあいバスが運行すべきとこ

ろがどこなのか。どこに誰を運ぶのか。目的をはっきりするべきだ。

- (委員) 鎌ヶ谷観光バスは、ダイヤ改正をしたら、乗車しなくなった。理由は本数が少なくなったためである。印西牧の原ルートは、朝、夕は乗るが、他の時間帯は乗らない。また、本数を増やすにも、ドライバー不足等で難しい。そのため、朝夕は路線バスを走らせ、それ以外の時間帯は、コミュニティバスを走らせる方策もある。運行時刻も考えたほうが良い。
- (委員) バスは、せめて1時間に1本、運行していただけたらと思う。
- (委員) 東ルート、木下駅から小林方面へ行く利用者は少ない。新しい計画では、木下から木下東、木下から印西牧の原、小林から印西牧の原に向かって便数を増やした方が良いのでないか。
- (委員) 中ルートは、別所地域の利用はない。ジョイフル本田から先の利用はあるため、ルート見直しの際は検討していただきたい。
- (委員) バスに乗らない人は、家の近くにバス停を寄せたとしても、乗らないので、バス利用者の意見を重視して欲しい。
- (委員) バス事業者の意見は重要であり、路線バスとの役割分担を明確にし、ふれあいバスの本来の目的は何なのか考えるべきである。また、路線競合を避けるだけでなく、時間帯を分けることも考えられる。

■本埜第二小学校周辺地域対策分科会

議題1：印西市地域公共交通網形成計画策定に係るアンケート調査の集計結果について

- ・特に意見はありませんでした。

議題2：意見交換

○六合路線について

- ・(委員) アンケートでは増便の希望が多いが、JR 小林駅から京成佐倉駅間は、運行時間が長いので車両運用上、増便は難しい。また、人手不足のため増便することができない。そのため、京成佐倉駅乗り入れをやめ、小林駅から印旛日本医大駅間として運行本数を増やし、印旛日本医大駅から京成佐倉駅は路線を分けることを考えている。昼間は京成佐倉駅まで行く利用者はほとんどいないため。
- ・(委員) 今まで通勤・通学で佐倉駅まで利用していた人は、乗り継ぎ券を発行することによって対応し、料金はそのまま対応していきたいと思っている。運行ダイヤは、北総線よりも本数の少ない、小林駅の鉄道ダイヤに合わせて設定する。路線を短くすると鉄道のダイヤに合わせやすい。長いとずれが多くなる。
- ・(委員) 乗務員の休憩時間の関係で、12 時台、17 時台の本数が少なくなってしまう。また瀬戸地区ではバスの騒音に対する苦情があり、ルート変更を検討している。
- ・(委員) 朝夕のみ小林駅から佐倉駅まで直行という案もあり得るのではないかな。

○スワン号について

- ・(委員) 利用者が少なく収入がないのであれば、キャンペーンとして無料で試してみてもよいのではないかな。まず一度乗ってもらうことが重要である。
- ・(委員) 地元でも話をしているが、なかなか乗る人はいない。やはり車が便利なのだろうと思う。
- ・(委員) アンケートの際に乗合タクシーが欲しいと言った人は、将来、車に乗れなくなったときのために欲しいと言っている。そのため、地域の方は、廃止されると困るのではないかな。
- ・(委員) スワン号の利用者のほとんどは、プレーグ本埜に行く人である。
- ・(委員) プレーグ本埜の車両を利用した買い物バスは、よく利用されている。
- ・(委員) 政治的な意向がなければ、見直した方がよい。
- ・(委員) デマンドという言葉が問題なのではないかな。デマンドが、なんなのか分からない。予約制という言い方にしてはどうか。
- ・(委員) スワン号は黒いワゴン車のため、ラッピング等で目立たせたらどうか。
- ・(委員) ラッピングや広告で収入を得るということも考えられる。
- ・(委員) 運転免許を持たない移動制約者が主体的に取り組んでいくような動きはあるのか。
- ・(委員) スワン号は、電話で予約するということに抵抗感があるという意見がある。

○その他

- ・(委員) ふれあいバスは、経由地が書いてあるが、行き先が表示されていない。もう少し、乗ってもらうための努力が必要ではないかな。

■師戸地区対策分科会

議題1：印西市地域公共交通網形成計画策定に係るアンケート調査の集計結果について

- ・(委員) 市民アンケートのアンケート票がわかりにくかった。特に高齢者は回答が難しいと思われる。アンケートの設問量が多く、結果として惰性で回答してしまっている可能性がある。もう少し答えやすくしたほうが良い。
- ・(委員) 市民アンケート結果は、印西地域、印旛地域、本埜地域の3地域に分かれているが、実感がわからない。印旛地域でも、ニュータウン地域、それ以外の地域に分けて分析すれば、アンケート結果の内容が違ってくると思う。
- ・(委員) 自由意見をみたとき、個人を特定されてしまう意見があった。
- ・(委員) アンケート結果において、サンプル数が少ない結果については、特記で「サンプル数が少ないことに注意」としておいた方が良い。

議題2：意見交換

- ・(委員) 地域の集まりで、宗像路線の赤ルート、青ルートがどこを經由し、どこへ行くのか示して欲しいとの声があった。乗車側からすると、赤ルート、青ルートと示されても、どこ經由で行くのかわからない。「〇〇ルート」とかにはならないのか。
- ・(委員) 市民アンケートの意見で市の広報にバスの行き先などを載せて欲しいとあったが、市の広報に載っている。こういう人は、広報も見していない。
- ・(委員) 行き先表示とすると、両ルートとも同じ經由地、同じ行き先なので説明が難しい。わかりやすい表現を検討したい。バスにマグネット等で前面に行き先や經由地を示した方が良いかもしれない。
- ・(委員) 色分けは、慣れればわかりやすいのだが。
- ・(委員) 利用者は普段はあまり利用せず、「今日は迎えの車が無いからバスを利用する」といった人が多い。京成臼井駅で一番混乱する。
- ・(委員) 岩戸セブンイレブン、京成臼井駅でバスを待っていた場合、赤ルート、青ルートが両方来るため、この2つのバス停については分かりやすくしてほしい。
- ・(委員) ふれあいバスも同様に、木下駅で2台来ていたが、經由地は表示されているが行先が表示されておらず、わかりづらい。利用者を増やしていくためには、乗り慣れていない人に乗ってもらうことが大事である。そのためのわかりやすさは必要だ。
- ・(委員) 印旛地域のバスによる通学利用は少ないのか。子どもは多いのか。
- ・(委員) 以前は、バスによる通学利用はあったが、廃校になったため、その地域は、スクールバスを利用して通学をしている。
- ・(委員) 宗像路線は全体的に、以前より子供の数が減って、通学利用もここ数年で激減した。
- ・(委員) 宗像地区の人は、高校卒業と同時に免許を取りに行く。
- ・(委員) 臼井から佐倉に行く高校生はいる。また、佐倉は特急が停まり時間的なことも考慮しながら利用している。また、料金も安い。北総線は料金が高く利用しない。
- ・(委員) 自動車の依存度を地図上にプロットしたものが公表されていたが、北総線沿線の

自動車依存度は異常に高かった。人口があるのに公共交通が成り立たないような状況だ。

- (委員) アンケート結果は広報に載せるのか。
- (委員) アンケート結果を見ると、広報を見ていないなと思う。バスの認知度も低い。例えば宗像地域では、ふれあいバスをみんな知らない。認知度を高める必要はあると思う。